令和８年度吹田市在宅医交流会　開催結果

資料3－2

１　開催日時

令和８年（2026 年）９月 12 日（土）　15 時～16 時

２　開催場所

東急 REI ホテル　３階　コージールーム

３　対象及び周知方法

対象：吹田市内の在宅療養支援診療所（R8.9 現在約 72 件）の医師及び在宅医療に関心を持つ医師
吹田市内の在宅療養後方支援病院（済生会吹田、徳洲会病院、吹田市民病院）の医師及び医療関係者（看護師、MSW 等）

周知方法：医師会所属の診療所に対して、吹田市医師会事務局の協力により FAX・メールでの周知及び個別での声掛け
医師会に所属していない市内在宅療養支援診療所に対して郵送で周知

４　申込及び参加状況

申込：医師 25 名：（医師会員 20 名、非会員５名）
（在宅療養支援診療所 19 名、在宅療養支援病院１名、在宅療養支援診療所以外の診療所４名）

参加：医師 22 名：（医師会員 17 名、非会員５名）
（在宅療養支援診療所 19 名、在宅療養支援病院１名、在宅療養支援診療所以外の診療所４名）
病院関係者 13 名

５　内容

（１）【吹田市からの報告】「在宅医療に役立つ情報」
（２）【講義】「在宅医と病院とのスムーズな連携に向けて」～在宅療養後方支援病院の活用～
（３）【情報交換】「みんなで共有しよう！日々の在宅診療での工夫や悩み」

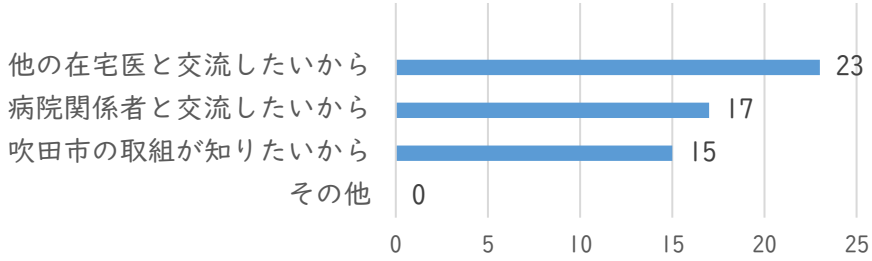
※交流会終了後、部屋を模様替えしたのち吹田市医師会主催の懇親会が開催された。

6　アンケート結果

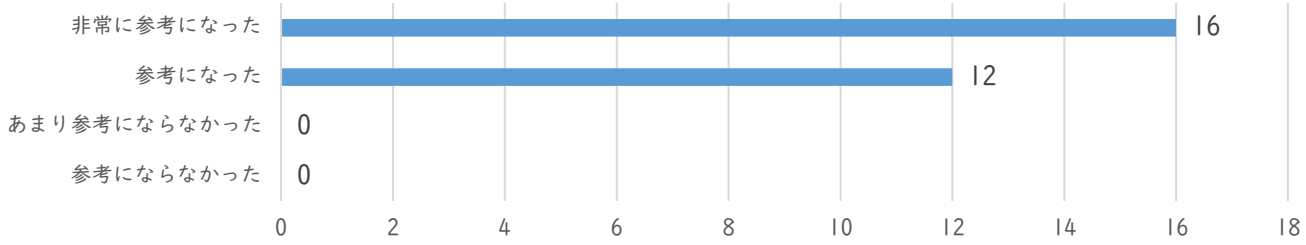
回答者数：28 名（回収率 87.5%）

（1）　交流会への参加動機

※ 重複回答あり

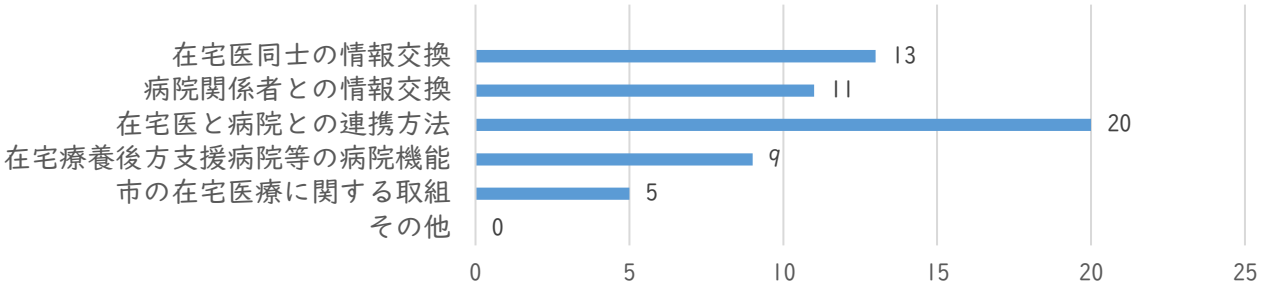


（2）　交流会は参考になったか



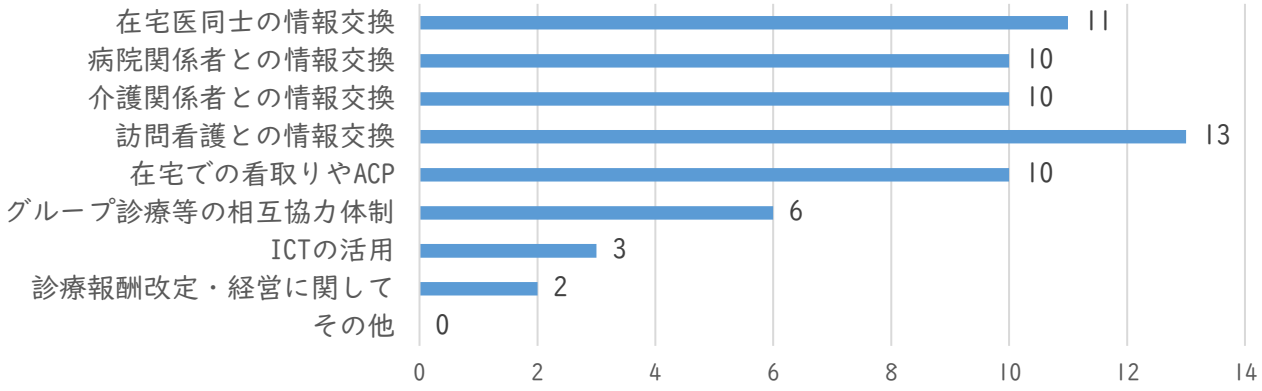
（3）　特に関心を持ったトピックス

※ 重複回答あり



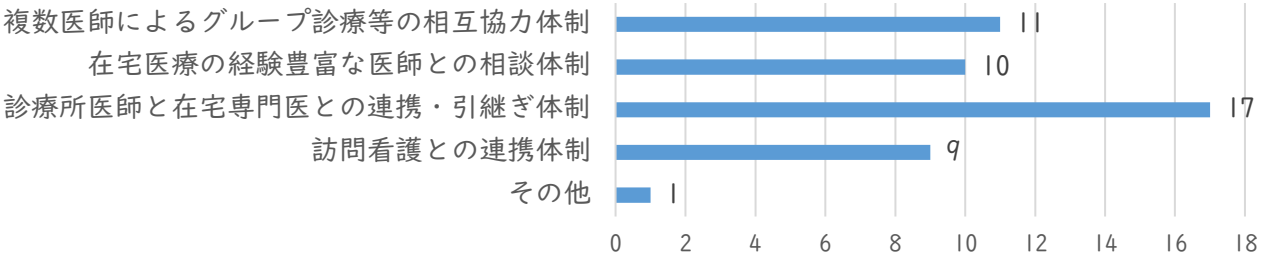
（4） 今後の交流会で希望するテーマ

※ 重複回答あり



（5） 在宅医への負担軽減策として必要なこと

※ 重複回答あり



その他：病院救急の有効活用

（6） 感想、御意見、御要望

・病院側の立場として勉強になりました。
・診療所、病院各々の悩みが聞けるのが良かったです。また開催してください。
・在宅医の先生方の意見を直接聞くことができて、貴重な機会となりました。ありがとうございました。
・とても良い会でした。
・新規開業の先生方も多いので、顔の見える交流会を開いて頂き参考になりました。
・今後とも、このような交流の機会を通じてご指導、ご教示を賜れましたら幸甚に存じます。
・吹田市空床状況確認システムについて、平日は地域連携室があるので、休日の更新をお願いしたいです。

7　まとめ

（1） 参加状況

吹田市医師会からの個別の声掛けもあり、診療所においては 21 名の参加があった。ただ、在宅療養支援診療所については、案内に対して約 2 割の参加にとどまった（72 診療所中 13 名参加)。一方で、在宅療養支援診療所ではないが在宅医療に関心のある診療所医師にも 8 名参加いただき、在宅医療に対する理解が深まった。

交流会への参加動機については、アンケートへの回答者 28 名中 23 名（約 8 割）が「他の在宅医と交流したいから」と回答しており、ニーズに合った会を開催できた。

（2）内容

交流会前後において、活発に連絡先の交換が行われた。

意見交換の時間では、夜間・休日対応、病院との連携方法、介護関係者との連携状況、看取り、その他相談等、様々な内容について熱量の高い意見が交わされた。

アンケートについても、回答者 28 名中 18 名（約 6 割）が「非常に参考になった」、12 名（約 4 割）が「参考になった」との回答をいただいた。自由記載においても、「また開催してほしい」「今後もこのような取り組みを続けてほしい」といった意見があった。

（3）その他アンケート結果

今後の交流会で希望するテーマについて、回答者 28 名中 13 名（約 5 割）が「訪問看護との情報交換」を挙げた。また、「在宅医同士の情報交換」と「病院関係者との情報交換」「介護関係者との情報交換」においても 4 割程度の参加者から希望があった。

在宅医への負担軽減策として必要なこととして、回答者 28 名中 17 名（約 6 割）が「診療所医師と在宅専門医との連携・引継ぎ体制」を挙げた。